

微なものになり、安全性の向上が期待できる。

BRTOの硬化剤EOについては現在進捗中の厚労科研
治験推進事業医師主導治験の結果により、胃静脈瘤に
対する薬事承認・保険適用に期待が高まる。

E. 結論

本邦で開発・発信されたBRTOの孤立性胃静脈瘤
に対する治療成績として本研究における累積非出血率
は5年で98%、7年でも98%であり、しかも出血3例
のいずれもがBRTO時の標的静脈瘤ではなく、対側の
胃噴門部静脈瘤近傍出血であったことから、結果的に
同部位再発は0%であったことから、本治療法は門脈
圧亢進症の中ではごく珍しい再発のない治療手技で
あったことが確認された。今後の更なる長期成績、手
技の向上、本邦における薬事承認、保険適用が期待さ
れる。

F. 研究発表

1. 論文発表

- 1) Takahide Nakazawa, Hisashi Hidaka¹, Akitaka Shibuya¹, Yusuke Okuwaki¹, Yoshiaki Tanaka¹, Juichi Takada¹, Tsutomu Minamino, Masaaki Watanabe, Shigehiro Kokubu and Wasaburo Koizumi : Overall survival in response to sorafenib versus radiotherapy in unresectable hepatocellular carcinoma with major portal vein tumor thrombosis: propensity score analysis. BMC Gastroenterology 2014, 14:84
- 2) Yoshiaki Tanaka, Takahide Nakazawa,^{*}Shouko Komori, Hisashi Hidaka, Yusuke Okuwaki, Juichi Takada, Masaaki Watanabe, Akitaka Shibuya, Tsutomu Minamino, Hajime Yamamoto, Shigehiro Kokubu, Kazushige Hayakawa and Wasaburo Koizumi : Radiotherapy for patients with unresectable advanced hepatocellular carcinoma with invasion to intrahepatic large vessels: Efficacy and outcomes. Journal of Gastroenterology and Hepatology : 29 (2) : 352-357, February 2014
- 3) Ito T, Okubo H, Kokubu S, Miyazaki A, Ando H, Fujimura A, Watanabe S. Radiofrequency ablation combined with chemolipiodolization in a porcine liver: Comparison of the

pharmacokinetic analysis with cisplatin powder and miriplatin.

Hepatol Res. 2014 Jul 7. doi: 10.1111/hepr.12387. [Epub ahead of print]

- 4) 林量司, 國分茂博, 浅野朗, 山科俊平, 川邊正人, 宮崎招久, 渡辺純夫, 松川正明: 食道・胃静脈瘤治療の内科的アプローチ. 日本内科学会雑誌 103 (5): 1187-1194, 2014
- 5) 國分茂博: ラジオ波焼灼療法における電極 (RFA), 肝癌の診療を極める (ゲスト編集) 金子周一, 常任編集) 竹原徹郎, 持田智. 152 ~ 158, 文光堂, 2014. 9

2. 学会発表

- 1) Kousuke Kubota, Hisashi Hidaka ,Shigehiro Kokubu ,Wasaburo Koizumi; Long-term outcome of patients with gastric fundal varices treated by balloon-occluded retrograde transvenous obliteration (B-RTO). Symposium11, Treatment of Gastric fundal Varices, JDDW2014.10.24 Kobe
- 2) 田中賢明、中澤貴秀、日高央、南野勉、高田樹一、奥脇裕介、渋谷明隆、渡邊真彰、小野弘二、國分茂博、小泉和三郎: 門脈大循環短絡路による肝性脳症に対するB-RTOの有用性. 第50回日本肝臓学会総会 2014.05. 30 東京

G. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む。)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

Ⅲ. 学会等発表実績

学会等発表実績

委託業務題目「門脈血行異常症に関する調査研究」

機関名 久留米大学

1. 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果 (発表題目, 口頭・ポスター発表の別)	発表者氏名	発表した場所 (学会等名)	発表した時期	国内・外の別
Budd-Chiari 症候群の病理とその発癌	鹿毛 政義	第 34 回日本静脈学会	2014 年 4 月 17 日	国内
肝臓への血小板集積は, 肝硬変における脾摘の 効果に關与するか (口演)	近藤礼一郎, 矢野 博久, 鹿毛 政義	第 3 回脾臓研究会	2014 年 4 月 26 日	国内
慢性肝炎での末梢血血小板減少を再考する ～肝硬変患者における脾摘の効果は, 肝臓の 壊死炎症反応によって減弱する (口演)	近藤礼一郎, 緒方 俊郎, 矢野 博久, 中島 収, 秋葉 純, 野村 頼子, 鹿毛 政義	第 50 回日本肝臓学会 総会	2014 年 5 月 29 日 ～ 5 月 30 日	国内
門脈圧亢進症の病理 －肝内血管系の変化を中心に－ (口演)	鹿毛 政義	千駄木カンファレンス	2014 年 7 月 7 日	国内
肝生検は線維化診断の golden standard か? (口演)	鹿毛 政義	第 51 回日本臨床生理 学会総会	2014 年 11 月 8 日	国内
早期肝癌とそれと鑑別すべき病変・早期肝癌の 治療開始時期: Gd-EOB-DTPA 造影 MRI で検 出された非多血性肝細胞癌の門脈血流を予測す る画像診断 (口演)	安藤 真弓, 今井 康晴, 平良 淳一, 佐野 隆友, 宮田 祐樹, 杉本 勝俊, 中村 郁夫, 森安 史典	第 27 回日本腹部造影 エコー・ドブラ診断 研究会	2014 年 4 月 5 日	国内
より安全で確実な IVR を目指して: US ガイド 下穿刺による局所療法－Fusion イメージング と針ナビゲーション－ (口演)	森安 史典	第 73 回日本医学 放射線学会総会	2014 年 4 月 10 日 ～ 4 月 13 日	国内
多発する乏血性肝細胞癌を合併した C 型肝硬 変症例の経過と治療 (口演)	安藤 真弓, 今井 康晴, 杉本 勝俊, 平良 淳一, 佐野 隆友, 宮田 祐樹, 笠井 美孝, 森安 史典	第 49 回肝癌症例 検討会	2014 年 4 月 19 日	国内
食道胃静脈瘤治療の最前線: 集学的食道静脈瘤 治療としての経鼻内視鏡的アルゴンプラズマ凝 固法～無作為割り付け比較試験～ (口演)	古市 好宏, 新戸 禎哲, 森安 史典	第 100 回日本消化器病 学会総会	2014 年 4 月 23 日 ～ 4 月 26 日	国内
改良型 B-Flow Accumulation 用いた低流速 血流の可視化の考察 (口演)	神山 直久, 見山 広二, 谷川俊一郎, 橋本 浩, 森安 史典	日本超音波医学会 第 87 回学術集会	2014 年 5 月 9 日～ 5 月 11 日	国内

発表した成果 (発表題目、口頭・ポスター発表の別)	発表者氏名	発表した場所 (学会等名)	発表した時期	国内・外の別
肝疾患診療の最前線：肝腫瘍へのアプローチ (口演)	森安 史典	日本超音波医学会 第 87 回学術集会	2014 年 5 月 9 日～ 5 月 11 日	国内
集束超音波治療の現状と問題点：集束超音波治療用振動子の音場評価技術 (口演)	工藤 信樹, 森安 史典	日本超音波医学会 第 87 回学術集会	2014 年 5 月 9 日～ 5 月 11 日	国内
超音波医学におけるバブル —基礎から応用まで— 造影超音波と治療支援, 関連技術の展開 (口演)	森安 史典	日本超音波医学会 第 87 回学術集会	2014 年 5 月 9 日～ 5 月 11 日	国内
肝 Elastography に影響を与える因子：急性 肝炎における SWE の臨床的意義 (口演)	平良 淳一, 今井 康晴, 森安 史典	日本超音波医学会 第 87 回学術集会	2014 年 5 月 9 日～ 5 月 11 日	国内
肝 Elastography に影響を与える因子：Shear wave の伝搬速度に影響する肝臓の病理学的 要因は？ (口演)	杉本 勝俊, 本定 三季, 大城 久, 森安 史典	日本超音波医学会 第 87 回学術集会	2014 年 5 月 9 日～ 5 月 12 日	国内
肝癌治療支援としての超音波技術：Volume Navigation を用いた肝癌 RFA 治療 (口演)	佐野 隆友, 今井 康晴, 森安 史典	日本超音波医学会 第 87 回学術集会	2014 年 5 月 9 日～ 5 月 11 日	国内
B-Flow 再構成法による肝微細血管の検討 (口演)	佐野 隆友, 森安 史典, 神山 直久	日本超音波医学会 第 87 回学術集会	2014 年 5 月 9 日～ 5 月 11 日	国内
Quantification in ultrasound molecular imaging using VEGF targeting contrast agent, BR55 (口演)	Sugimoto K, Moriyasu F	The 6th Asian Conference on Ultrasound Contrast Imaging(ACUCI2014)	2014 年 5 月 10 日	国内
Irreversible electroporation (IRE,NanoKnifeR)and CEUS (口演)	Moriyasu F, Sugimoto K, Imai Y	The 6th Asian Conference on Ultrasound Contrast Imaging(ACUCI2014)	2014 年 5 月 10 日	国内
食道・胃静脈瘤の診断と治療の最先端：安定した 内視鏡的食道静脈瘤硬化療法のための工夫 (口演)	古市 好宏, 森安 史典, 新戸 禎哲	第 87 回日本消化器 内視鏡学会総会	2014 年 5 月 15 日 ～ 5 月 17 日	国内
食道・胃静脈瘤の診断と治療の最先端： Foam BRTO は胃静脈瘤治療を変えるか(口演)	大高 純, 角谷 宏, 森安 史典	第 87 回日本消化器 内視鏡学会総会	2014 年 5 月 15 日 ～ 5 月 17 日	国内
肝癌に対する局所療法成績向上のための工夫 (技術認定を含めて) (口演)	森安 史典	第 50 回日本肝臓学会 総会	2014 年 5 月 29 日 ～ 5 月 30 日	国内
肝癌に対する局所療法成績向上のための工夫 (技術認定を含めて)：肝癌 RFA における simulation および navigation の役割 (口演)	佐野 隆友, 今井 康晴, 森安 史典	第 50 回日本肝臓学会 総会	2014 年 5 月 29 日 ～ 5 月 30 日	国内
肝臓病理に画像診断はどこまで迫れたか： Shear wave の伝搬速度に影響する肝臓 の病理学的要因は？—術中 Shear Wave Elastography とデジタル顕微鏡支援形態計測 による解析 (口演)	杉本 勝俊, 本定 三季, 森安 史典	第 50 回日本肝臓学会 総会	2014 年 5 月 29 日 ～ 5 月 30 日	国内

発表した成果 (発表題目, 口頭・ポスター発表の別)	発表者氏名	発表した場所 (学会等名)	発表した時期	国内・外の別
高齢非代償性肝硬変症例に合併した食道静脈瘤への予防的硬化療法の有用性 (示説)	古市 好宏, 森安 史典, 佐野 隆友	第 50 回日本肝臓学会 総会	2014 年 5 月 29 日 ～ 5 月 30 日	国内
肝臓の診断と治療へのアプローチ: 肝腫瘍に対する治療アプローチ (口演)	森安 史典	第 50 回日本肝臓研究会	2014 年 6 月 5 日～ 6 月 6 日	国内
肝画像診断のイノベーション: Fusion イメージング, 針ナビゲーションによる肝臓治療支援 (口演)	今井 康晴, 佐野 隆友, 安藤 真弓, 宮田 祐樹, 平良 淳一, 杉本 勝俊, 中村 郁夫, 森安 史典	第 50 回日本肝臓研究会	2014 年 6 月 5 日～ 6 月 6 日	国内
造影エコーの State of Art: 各種超音波技術による不可逆電気穿孔法 (IRE) 後の肝組織変化の観察—ラジオ波治療との比較を中心に(口演)	杉本 勝俊, 大城 久, 小林 功幸, 安藤 真弓, 岩塚 邦夫, 中島 哲史, 粕谷 和彦, 佐野 隆友, 宮田 祐樹, 平良 淳一, 今井 康晴, 中村 郁夫, 森安 史典	第 50 回日本肝臓研究会	2014 年 6 月 5 日～ 6 月 6 日	国内
肝臓治療シミュレーション画像の進歩 (3D・4D 画像を含めて): 超音波 volume data による fusion image を用いた肝臓 RFA 治療 monitoring の有用性 (口演)	安藤 真弓, 今井 康晴, 平良 淳一, 杉本 勝俊, 森安 史典	第 50 回日本肝臓研究会	2014 年 6 月 5 日～ 6 月 6 日	国内
ラジオ波治療の技術の進歩 (fusion も含めて): RVS を用いた肝臓ラジオ波焼灼療法 (口演)	今井 康晴, 安藤 真弓, 佐野 隆友, 宮田 祐樹, 平良 淳一, 杉本 勝俊, 中村 郁夫, 森安 史典	第 50 回日本肝臓研究会	2014 年 6 月 5 日～ 6 月 6 日	国内

発表した成果 (発表題目, 口頭・ポスター発表の別)	発表者氏名	発表した場所 (学会等名)	発表した時期	国内・外の別
TACE, 重粒子線治療後に遅発性横隔膜ヘルニアを発症した肝細胞癌の一例 (示説)	古賀 幹教, 小林 功幸, 高垣 信一, 平山 泰丈, 松江 右武, 高橋 佑輔, 三輪 佳雅, 奴田原大輔, 中村 洋典, 片上 利生, 角谷 宏, 宮岡 正明, 岩本 整, 森安 史典	第 50 回日本肝癌研究会	2014 年 6 月 5 日～ 6 月 6 日	国内
RFA 治療の現状と最近の進歩：肝癌に対するバイポーラ RFA の現状と工夫 (口演)	佐野 隆友, 今井 康晴, 安藤 真弓, 平良 淳一, 杉本 勝俊, 森安 史典	第 50 回日本肝癌研究会	2014 年 6 月 5 日～ 6 月 6 日	国内
内視鏡治療の工夫：内視鏡的食道静脈瘤硬化療法における先端フォードの有用性 (口演)	古市 好宏, 森安 史典, 佐野 隆友, 平良 淳一, 安藤 真弓, 杉本 勝俊, 新戸 禎哲, 中村 郁夫, 今井 康晴	第 21 回日本門脈圧 亢進症学会総会	2014 年 9 月 12 日 ～ 9 月 13 日	国内
Regulatory reports from around the world: AFSUMB (口演)	<u>Moriyasu F</u>	Th 29th Annual Advances in Contrast Ultrasound—ICUS Bubble Conference	2014 年 9 月 17 日 ～ 9 月 19 日	国外
Application of contrast ultrasound and ultrasound elastography to diagnosis and intervention ultrasound of liver cancer (口演)	<u>Moriyasu F</u>	2014 TSUM: 中華民国医 療超音波学会	2014 年 10 月 18 日 ～ 10 月 19 日	国外
Advances in fusion imaging and needle navigation system for ablation therapy of liver and pancreas cancers (口演)	<u>Moriyasu F</u>	2014 TSUM: 中華民国医 療超音波学会	2014 年 10 月 18 日 ～ 10 月 19 日	国外
胃静脈瘤治療の現状と問題点：一時止血後の孤立性胃静脈瘤治療として、シアノアクリレート併用 EIS と BRTO ではどちらが有用か (口演)	古市 好宏, 森安 史典, 新戸 禎哲	第 88 回日本消化器内視 鏡学会総会・第 56 回日 本消化器病学会大会・第 18 回日本肝臓学会大会・ 第 12 回日本消化器外科 学会大会合同	2014 年 10 月 23 日 ～ 10 月 26 日	国内

発表した成果 (発表題目, 口頭・ポスター発表の別)	発表者氏名	発表した場所 (学会等名)	発表した時期	国内・外の別
肝硬変合併症の新しい治療戦略：食道静脈瘤硬化療法の肝機能へ与える影響と対策（口演）	古市 好宏, 森安 史典, 今井 康晴	第 18 回日本肝臓学会大会・第 56 回日本消化器病学会大会・第 88 回日本消化器内視鏡学会総会・第 12 回日本消化器外科学会大会合同	2014 年 10 月 23 日 ～ 10 月 26 日	国内
画像診断を駆使した肝疾患治療の最前線：基調講演（口演）	森安 史典	第 18 回日本肝臓学会大会・第 56 回日本消化器病学会大会合同	2014 年 10 月 23 日 ～ 10 月 26 日	国内
画像診断を駆使した肝疾患治療の最前線：磁気位置検出ユニット搭載超音波装置による肝癌治療支援（口演）	今井 康晴, 佐野 隆友, 森安 史典	第 18 回日本肝臓学会大会・第 56 回日本消化器病学会大会合同	2014 年 10 月 23 日 ～ 10 月 26 日	国内
非アルコール性脂肪性肝疾患における Shear Wave Elastography の臨床的意義—NAFLD activity score との比較（口演）	岩塚 邦生, 杉本 勝俊, 安藤 真弓, 佐野 隆友, 森 俊文, 平良 淳一, 古市 好宏, 今井 康晴, 中村 郁夫, 森安 史典, 大城 久	第 174 回東京医科大学医学学会総会	2014 年 11 月 1 日	国内
急性肝炎における SWE (Shear Wave Elastography) 測定の有用性（口演）	平良 淳一, 今井 康晴, 森安 史典	第 174 回東京医科大学医学学会総会	2014 年 11 月 1 日	国内
新しい超音波診断装置, 画像解析ワークステーションを用いた肝癌 RFA 治療（口演）	佐野 隆友, 今井 康晴, 森安 史典	第 174 回東京医科大学医学学会総会	2014 年 11 月 1 日	国内
慢性肝疾患を有する患者の肝細胞癌及び食道静脈瘤発症予測における Shear Wave Elastography の有用性（口演）	笠井 美孝, 杉本 勝俊, 竹内 啓人, 安藤 真弓, 佐野 隆友, 森 俊文, 古市 好宏, 森安 史典, 齋藤 和博, 原 武史	第 174 回東京医科大学医学学会総会	2014 年 11 月 1 日	国内
エラストグラフィー分野の現状：Shear wave elastography（口演）	森安 史典	第 51 回日本臨床生理学学会総会	2014 年 11 月 7 日 ～ 11 月 8 日	国内
門脈圧亢進症の対策：食道静脈瘤硬化療法がもたらす栄養障害への対策（口演）	古市 好宏, 今井 康晴, 森安 史典	第 40 回日本肝臓学会東部会	2014 年 11 月 27 日 ～ 11 月 28 日	国内

発表した成果 (発表題目, 口頭・ポスター発表の別)	発表者氏名	発表した場所 (学会等名)	発表した時期	国内・外の別
生体肝移植における左葉グラフト vs 右葉グラフト (口演)	石崎 陽一, 徳川 友彦, 吉本 次郎, 藤原 典子, 今村 宏, 川崎 誠治	第 114 回日本外科学会	2014 年 4 月 3 日	国内
当科における高齢者肝細胞癌切除症例の検討 (口演)	内田 博喜, 岩下 幸雄, 渡邊 公紀, 川崎 貴秀, 小森 陽子, 川野雄一郎, 薮 由貴, 矢田 一宏, 太田 正之, 猪股 雅史, 北野 正剛	第 26 回日本肝胆膵外科学会学術集会	2014 年 6 月 11 日 ～ 6 月 13 日	国内
結腸・直腸癌肝転移に対する肝切除前化学療法と肝切除術における腫瘍遺残ゼロへ向けた新しい取り組み (示説)	岩下 幸雄, 内田 博喜, 渡邊 公紀, 川崎 貴秀, 小森 陽子, 川野雄一郎, 矢田 一宏, 薮 由貴, 太田 正之, 猪股 雅史, 北野 正剛	第 26 回日本肝胆膵外科学会学術集会	2014 年 6 月 11 日 ～ 6 月 13 日	国内
肝血管肉腫に対して短期間に 2 度肝切除を施行した 1 例 (示説)	渡邊 公紀, 岩下 幸雄, 川崎 貴秀, 小森 陽子, 内田 博喜, 矢田 一宏, 太田 正之, 猪股 雅史, 北野 正剛	第 26 回日本肝胆膵外科学会学術集会	2014 年 6 月 11 日 ～ 6 月 13 日	2014 年 7 月 16 日～ 7 月 18 日
CO2 気腹圧が肝切除モデルの肝再生に及ぼす影響 (口演)	小森 陽子, 岩下 幸雄, 太田 正之, 渡邊 公紀, 川崎 貴秀, 川野雄一郎, 内田 博喜, 矢田 一宏, 猪股 雅史, 北野 正剛	第 69 回日本消化器外科学会総会	2014 年 7 月 16 日 ～ 7 月 18 日	2014 年 7 月 16 日～ 7 月 18 日

発表した成果 (発表題目, 口頭・ポスター発表の別)	発表者氏名	発表した場所 (学会等名)	発表した時期	国内・外の別
Laparoscopic liver resection in the elderly patients(口演)	Watanabe K, Uchida H, Iwashita Y, Yada K, Ohta M, Inomata M, Kitano S	The 2nd International Consensus Conference on Laparoscopic Liver Resection	2014年10月4日 ～10月6日	国内
門脈血栓合併食道胃静脈瘤の治療経験(口演)	川中 博文, 赤星朋比古, 松本 佳大, 今井 大祐, 別城 悠樹, 王 欽林, 木村 光一, 中川原英和, 吉屋 匠平, 井口 友宏, 二宮 瑞樹, 山下 洋市, 池上 徹, 岡野 慎士, 吉住 朋晴, 調 憲, 前原 喜彦	第50回日本腹部救急 医学会総会	2014年3月6日	国内
肝硬変に対する腹腔鏡下脾摘術を安全に行うためのHALSの適応を明確にした手技の標準化とその適正化(口演)	川中 博文, 赤星朋比古, 井口 友宏, 二宮 瑞樹, 山下 洋市, 池上 徹, 内山 秀昭, 岡野 慎士, 吉住 朋晴, 副島 雄二, 吉屋 匠平, 中川原英和, 松本 佳大, 木村 光一, 王 欽林, 今井 大祐, 別城 悠樹, 調 憲, 池田 哲夫, 前原 喜彦	第114回日本外科学会 定期学術集会	2014年4月4日	国内

発表した成果 (発表題目, 口頭・ポスター発表の別)	発表者氏名	発表した場所 (学会等名)	発表した時期	国内・外の別
肝硬変症における脾摘術後門脈血栓に対する予防法の確立 (口演)	川中 博文, 赤星朋比古, 松本 佳大, 吉田 佳弘, 栗原 健, 今井 大祐, 別城 悠樹, 王 歆林, 木村 光一, 中川原英和, 井口 友宏, 二宮 瑞樹, 伊藤 心二, 播本 憲史, 山下 洋市, 池上 徹, 吉住 朋晴, 調 憲, 池田 哲夫, 前原 喜彦	第 69 回日本消化器外科 学会総会	2014 年 7 月 17 日	国内
胃静脈瘤に対する腹腔鏡下 Hassab 手術の手技の工夫 (口演)	川中 博文, 赤星朋比古, 播本 憲史, 伊藤 心二, 武石 一樹, 松本 佳大, 吉田 佳弘, 山下 洋市, 池上 徹, 吉住 朋晴, 調 憲, 池田 哲夫, 前原 喜彦	第 21 回日本門脈圧亢進 症学会総会	2014 年 9 月 13 日	国内
胃静脈瘤に対する腹腔鏡下 Hassab 手術を安全に行うための手技の工夫 (口演)	川中 博文, 赤星朋比古, 播本 憲史, 伊藤 心二, 武石 一樹, 松本 佳大, 吉田 佳弘, 山下 洋市, 池上 徹, 吉住 朋晴, 調 憲, 池田 哲夫, 前原 喜彦	第 27 回日本内視鏡外科 学会総会	2014 年 10 月 3 日	国内
C 型肝硬変症における脾摘の臨床的意義 (口演)	川中 博文, 赤星朋比古, 前原 喜彦	JDDW2014 (第 12 回日 本消化器外科学会大会)	2014 年 10 月 24 日	国内

発表した成果 (発表題目, 口頭・ポスター発表の別)	発表者氏名	発表した場所 (学会等名)	発表した時期	国内・外の別
C型肝硬変症における脾摘術後の肝発癌および予後についての検討(示説)	川中 博文, 赤星朋比古, 播本 憲史, 伊藤 心二, 武石 一樹, 松本 佳大, 中川原英和, 木村 光一, 王 歆林, 今井 大祐, 別城 悠樹, 吉田 佳弘, 富野 高弘, 栗原 健, 山下 洋市, 池上 徹, 吉住 朋晴, 調 憲, 池田 哲夫, 前原 喜彦	第25回日本消化器癌 発生学会	2014年11月13日	国内
肝硬変における門脈血栓症に対するダナパロイドナトリウムの有用性:13症例の経験(口演)	川村 悦史, 榎本 大, 小谷 晃平, 萩原 淳司, 藤井 英樹, 打田佐和子, 岩井 秀司, 森川 浩安, 河邊 譲治, 村上 善基, 田守 昭博, 塩見 進, 河田 則文	第50回日本肝臓学会 総会	2014年5月29日 ～5月30日	国内
Regional liver function assessed using SPECT/CT combined with Tc-99m-GSA scintigraphy predicts severity of acute liver damage (示説)	Kotani K, Kawabe J, Kawamura E, Higashiyama S, Yoshida A, Katayama Y, Yamanaga T, Kawahata H, Shiomi S	Annual Congress of European Association of Nuclear Medicine 2014	2014年10月18日 ～10月22日	国外

発表した成果 (発表題目, 口頭・ポスター発表の別)	発表者氏名	発表した場所 (学会等名)	発表した時期	国内・外の別
血友病 B・40 家系における血液凝固第 IX 因子遺伝子解析 (示説)	中村 友紀, 村田 萌, 安藤 裕実, 加藤 衣央, 高木 夕希, 高木 明, 兼松 毅, 岸本磨由子, 鈴木 伸明, 松下 正, 齋藤 英彦, 小嶋 哲人	第 36 回日本血栓止血学会学術集会	2014 年 4 月 29 日 ～ 4 月 31 日	国内
アンチトロンビン抵抗性検出検査法の自動凝固検査機器への最適化 (口演)	村田 萌, 高木 夕希, 中村 友紀, 長谷部 瞭, 小塚 敏弘, 中田悠紀子, 高木 明, 村手 隆, 松下 正, 小嶋 哲人	第 15 回日本検査血液検査血液学会学術集会	2014 年 7 月 20 日 ～ 7 月 21 日	国内
原因不明であった静脈血栓塞栓症にみられたアンチトロンビン抵抗性を示す本邦 2 家系目のプロトロンビン異常症 (口演)	村田 萌, 高木 明, 岸本磨由子, 清井 仁, 松下 正, 小嶋 哲人	第 33 回日本臨床検査医学会東海・北陸支部例会	2014 年 8 月 2 日	国内
Optimization of the antithrombin resistance assay for the automated analyzer. (口演)	Murata M, Takagi Y, Nakamura Y, Hasebe R, Kozuka T, Nakata Y, Takagi A, Kojima T	The 8th Congress of Asia Pacific Society for Thrombosis and Haemostasis	2014 年 10 月 8 日 ～ 10 月 11 日	国外
Precise genetic abnormalities in four hemophilia B patients with large deletions of X-chromosome including entire F9. (口演)	Nakamura Y, Murata M, Takagi Y, Kozuka T, Nakata Y, Hasebe R, Takagi A, Matsushita T, Kojima T	The 8th Congress of Asia Pacific Society for Thrombosis and Haemostasis	2014 年 10 月 8 日 ～ 10 月 11 日	国外

発表した成果 (発表題目, 口頭・ポスター発表の別)	発表者氏名	発表した場所 (学会等名)	発表した時期	国内・外の別
A wide variety of F8 gene abnormality of hemophilia A in Nagoya. (口演)	Hasebe R, Kozuka T, Nakata Y, Nakamura Y, Takagi Y, Murata M, Takagi A, Kojima T	The 8th Congress of Asia Pacific Society for Thrombosis and Haemostasis	2014年10月8日 ～10月11日	国外
Skewed X chromosome inactivation caused moderately severe hemophilia B in a Japanese female. (示説)	Kozuka T, Hasebe R, Nakata Y, Nakamura Y, Takagi Y, Murata M, Takagi A, Kojima T	The 8th Congress of Asia Pacific Society for Thrombosis and Haemostasis	2014年10月8日 ～10月11日	国外
Gene analysis in an unprecedented rare case of mild hemophilia A combined with factor V deficiency. (示説)	中村 友紀, 村田 萌, 高木 夕希, 小塚 敏弘, 中田悠紀子, 長谷部 瞭, 高木 明, 村手 隆, 山崎 鶴夫, 鈴木 伸明, 松下 正, 小嶋 哲人	第76回日本血液学会 学術集会	2014年10月31日 ～11月2日	国内
門脈圧亢進症における下腸間膜静脈血行動態について -超音波ドプラによる検討- (示説)	興梠 慧輔, 水本 英明, 今関 洋, 東郷 聖子, 関 厚佳, 小林 照宗, 安藤 健, 松谷 正一	第56回日本消化器病 学会大会	2014年10月23日 ～10月25日	国内
現在のガイドライン非因子である術中門脈圧からみた肝細胞癌の肝切除後合併症と予後の検証 (示説)	日高 匡章, 高槻 光寿, 曾山 明彦, 足立 智彦, 北里 周, 木下 綾華, 夏田 孔史, 釘山 統太, 藤田 文彦, 南 恵樹, 金高 賢悟, 黒木 保, 江口 晋	第114回日本外科学会 定期学術集会	2014年4月3日 ～4月5日	国内

発表した成果 (発表題目, 口頭・ポスター発表の別)	発表者氏名	発表した場所 (学会等名)	発表した時期	国内・外の別
血液製剤による HIV/HCV 重複感染患者における肝線維化評価: APRI と FIB4 の有用性 (示説)	高槻 光寿, 夏田 孔史, 日高 匡章, 曾山 明彦, 木下 綾華, バイマカノフ・ ジャスラン, 村岡いづみ 足立 智彦, 北里 周, 藤田 文彦, 金高 賢悟, 黒木 保, 江口 晋	第 40 回肝臓学会東部会	2014 年 11 月 27 日 ～ 11 月 28 日	国内
門脈圧亢進症に対する集学的治療 (口演)	吉田 寛	第 23 回近畿食道・胃静 脈瘤研究会	2014 年 6 月 14 日	国内
門脈圧亢進症 (口演)	吉田 寛	第 40 回日本肝臓学会 東部会	2014 年 11 月 27 日	国内
B-RTO が肝硬変患者特有の代謝障害に及ぼす影響～高アンモニア血症を中心に～ (口演)	石川 剛, 白築 祥吾, 松田 崇史, 岩本 拓也, 坂井田 功	第 50 回日本肝臓学会 総会	2014 年 5 月 29 日	国内
B-RTO による高アンモニア血症改善に寄与する因子の統計学的解析 (口演)	石川 剛, 相部 祐希, 中島 崇雄, 白築 祥吾, 松田 崇史, 岩本 拓也, 坂井田 功	第 21 回日本門脈圧 亢進症学会総会	2014 年 9 月 12 日	国内
Portosystemic shunt syndrome に対する B-RTO の有効性に関する検討 (口演)	石川 剛, 相部 祐希, 中島 崇雄, 白築 祥吾, 松田 崇史, 岩本 拓也, 坂井田 功	第 17 回 B-RTO 研究会	2014 年 9 月 13 日	国内
Budd-Chiari 症候群に対する直視下手術における術式工夫の変遷 (64 例の経験から) (口演)	稲福 齊, 戸塚 裕一, 安藤 美月, 佐々木高信, 新垣 涼子, 前田 達也, 喜瀬 勇也, 古堅 智則, 仲栄真盛保, 永野 貴昭, 照屋 孝夫, 山城 聡, 國吉 幸男	第 34 回 日本静脈学会	2014 年 4 月 18 日	国内

発表した成果 (発表題目, 口頭・ポスター発表の別)	発表者氏名	発表した場所 (学会等名)	発表した時期	国内・外の別
Radical open endovenectomy with pericardial patch graft for correction of Budd-Chiari syndrome –early and late results- (口演)	<u>Kuniyoshi Y</u>	第 8 回日独血管外科学会	2014 年 8 月 22 日	国外

2. 学会誌・雑誌等における論文掲載

掲載した論文 (発表題目)	発表者氏名	発表した場所 (学会誌・雑誌等名)	発表した時期	国内・外の別
Improved liver function and relieved pruritus after 4-phenylbutyrate therapy in a patient with progressive familial intrahepatic cholestasis type 2	Naoi S, Hayashi H, Inoue T, Tanikawa K, Igarashi K, Nagasaka H, <u>Kage M</u> , Takikawa H, Sugiyama Y, Inui A, Nagai T, Kusuhara H.	The journal of pediatrics	2014 年 5 月	国外
肝臓への血小板集積は肝硬変における脾摘の効果に関与するか	近藤 礼一郎, 矢野 博久, <u>鹿毛 政義</u>	消化器内科	2014 年 8 月	国内
Pathological characteristics of patients who develop hepatocellular carcinoma with negative results of both serous hepatitis B surface antigen and hepatitis C virus antibody	Kondo R, Nakashima O, Sata M, Imazeki F, Yokosuka O, Tanikawa K, <u>Kage M</u> , Yano H	Hepatol Res	2014 年 10 月	国外
Influence of splenectomy in patients with liver cirrhosis and hypersplenism	Nomura Y, <u>Kage M</u> , Ogata T, Kondou R, Kinoshita H, Ohshima K, Yano H	Hepatol Res	2014 年 10 月	国外
Noninvasive diagnosis of liver fibrosis: utility of data mining of both ultrasound elastography and serological findings to construct a decision tree	Yada N, Kudo M, Kawada N, Sato S, Osaki Y, Ishikawa A, Miyoshi H, Sakamoto M, <u>Kage M</u> , Nakashima O, Tonomura A	Oncology	2014 年 11 月	国外

発表した成果 (発表題目, 口頭・ポスター発表の別)	発表者氏名	発表した場所 (学会等名)	発表した時期	国内・外の別
結節性再生性過形成 nodular regenerative hyperplasia (NRH) の病理	鹿毛 政義, 近藤礼一郎	肝胆膵	2014年11月	国内
The therapeutic efficacy of splenectomy is attenuated by necroinflammation of the liver in patients with liver cirrhosis	Kondo R, Kage M, Ogata T, Nakashima O, Akiba J, Nomura Y, Yano H	J Hepatobiliary Pancreat Sci	2014年	国外
Hemodynamic changes during balloon-occluded transarterial chemoembolization (B-TACE) of hepatocellular carcinoma observed by contrast-enhanced ultrasound	Sugimoto K, Saguchi T, Saito K, Imai Y, Moriyasu F	J Med Ultrason	2014年4月	国外
その他の肝疾患編：門脈血行異常症 I 基本編 1 特発性門脈圧亢進症	古市 好宏, 森安 史典	Hepatology Practice	2014年5月	国内
不可逆電気穿孔法, Irreversible Electroporation(IRE) を用いて局所治療を行った肝細胞癌の1例	杉本 勝俊, 森安 史典, 安藤 真弓, 佐野 隆友, 宮田 祐樹, 平良 淳一, 小林 功幸, 今井 康晴, 中村 郁夫	肝臓	2014年5月	国内
新しい画像強調内視鏡：第二世代画像強調内視鏡の臨床的意義 第二世代 NBI 有用性と使用方法のコツ 細径経鼻内視鏡観察	河合 隆, 佐藤 丈征, 八木 健二, 福澤 誠克, 草野 央, 後藤田卓志, 森安 史典	消化器内視鏡	2014年5月	国内
Kupffer-phase findings of hepatic hemangiomas in contrast-enhanced ultrasound with sonazoid	Sugimoto K, Moriyasu F, Saito K, Yoshiara H, Imai Y	Ultrasound Med Biol	2014年6月	国外
Is diffusion-weighted imaging a significant indicator of the development of vascularization in hypovascular hepatocellular lesions?	Takara K, Saito K, Saguchi T, Sugimoto K, Takara K, Saito K, Saguchi T, Sugimoto K, Taira J, Imai Y, Moriyasu F, Akata S, Tokuyue K	Clin Imaging	2014年7月	国外

発表した成果 (発表題目, 口頭・ポスター発表の別)	発表者氏名	発表した場所 (学会等名)	発表した時期	国内・外の別
肝腫瘍へのアプローチ	森安 史典	INNERVISION	2014年7月	国内
9 Medical field, 9.2 Contrast-enhanced ultrasound using microbubble contrast agent	Moriyasu F Editor:Tsuge H)	Micro-and nanobubbles: Fundamentals and applications	2014年8月	国外
門脈圧亢進症の治療法の選択とその成績：肝機能温存を目的とした集学的食道静脈瘤治療	古市 好宏, 森安 史典	消化器内科	2014年8月	国内
II. 診断編 A. 肝細胞癌編 1. 超音波検査	森安 史典	Hepatology Practice 第5巻 肝癌の診療を極める～基本から最前線まで～	2014年9月	国内
Catheter-retaining balloon-occluded retrograde transvenous obliteration for gastric varices	Kakutani H, Sanada J, Nakayama D, Moriyasu F	J Nippon Med Sch	2014年10月	国外
Focal nodular hyperplasia-like lesion of the liver with focal adenoma features associated with idiopathic portal hypertension	Sugimoto K, Kondo F, Furuichi Y, Oshiro H, Nagao T, Saito K, Yoshida H, Imai Y, Fukusato T, Moriyasu F.	Hepatol Res	2014年10月	国外
Assessment of irreversible electroporation ablation zone using Kupffer-phase contrast-enhanced ultrasound images with Sonazoid	Sugimoto K, Moriyasu F, Kobayashi Y, Imai Y	J Med Ultrasonics 41	2014年10月	国外
ERAS時代の周術期管理マニュアル：Ⅲ術式別の術前・術中・術後管理 4. 肝 肝腫瘍に対する ablation	森安 史典	臨床外科	2014年10月	国内
経鼻内視鏡を用いたアルゴンプラズマ凝固法による集学的食道静脈瘤治療	古市 好宏, 河合 隆, 森安 史典	消化器内視鏡	2014年11月	国内
Radiologic-pathologic correlation of three-dimensional shear-wave elastographic findings in assessing the liver ablation volume after radiofrequency ablation	Sugimoto K, Oshiro H, Ogawa S, Honjo M, Hara T, Moriyasu F	World J Gastroenterol	2014年	国外
Basic FGF-treated adipose tissue-derived mesenchymal stem cell infusion ameliorate liver cirrhosis via paracrine HGF	Tang W, Aakahoshi T, Piao J, Narahara S, Murata M, Kawano T, Hamano N, Ikeda T, Hashizume M	Journal of Gastroenterology and Hepatology	2014年	国外

発表した成果 (発表題目, 口頭・ポスター発表の別)	発表者氏名	発表した場所 (学会等名)	発表した時期	国内・外の別
Evaluation of esophagogastric varices after adult-to-adult living donor liver transplantation using a left lobe graft	Ishizaki Y, Konishi N, Yoshimoto J, Sugo H, Imamura H, <u>Kawasaki S</u>	Dig Surg	2014年10月	国外
生体肝移植における左葉グラフト vs 右葉グラフト a) 左葉グラフト	石崎 陽一, 川崎 誠治	臨床雑誌「外科」別冊	2014年12月	国内
胆管癌におけるNF- κ B活性亢進と腫瘍増殖の関連性	矢田 一宏, 太田 正之, 岩下 幸雄, 猪股 雅史, <u>北野 正剛</u>	肝胆膵	2014年4月	国内
Mammalian target of rapamycin signaling activation patterns in pancreatic neuroendocrine tumors	Komori Y, Yada K, Ohta M, Uchida H, Iwashita Y, Fukuzawa K, Kashima K, Yokoyama S, Inomata M, <u>Kitano S</u>	Hepatobiliary Pancreat Sci	2014年4月	国内
Effects of different pressure levels of CO ₂ pneumoperitoneum on liver regeneration after liver resection in a rat model	Komori Y, Iwashita Y, Ohta M, Kawano Y, Inomata M, <u>Kitano S</u>	Surg Endosc	2014年8月	国内
Effects of the dihydrolipoyl histidine zinc complex against carbon tetrachloride-induced hepatic fibrosis in rats	<u>Kawano Y,</u> <u>Ohta M,</u> <u>Iwashita Y,</u> <u>Komori Y,</u> <u>Inomata M,</u> <u>Kitano S</u>	Surg Today	2014年9月	国内
Effect of laparoscopic splenectomy on portal hemodynamics in patients with liver cirrhosis and portal hypertension	Kawanaka H, Akahoshi T, Kinjo N, Iguchi T, Ninomiya M, Yamashita Y, Ikegami T, Yoshizumi T, Shirabe K, <u>Maehara Y</u>	Br J Surg	2014年11月	国外

発表した成果 (発表題目, 口頭・ポスター発表の別)	発表者氏名	発表した場所 (学会等名)	発表した時期	国内・外の別
Optimizing risk stratification in portal vein thrombosis after splenectomy and its primary prophylaxis with antithrombin III concentrates and danaparoid sodium in liver cirrhosis with portal hypertension	Kawanaka H, Akahoshi T, Ito S, Iguchi T, Harimoto N, Uchiyama H, Yoshizumi T, Shirabe K, Takenaka K, Maehara Y.	J Am Coll Surg	2014年11月	国外
Role of per-rectal portal scintigraphy in long-term follow-up of congenital portosystemic shunt	Cho Y, Tokuhara D, Shimono T, Yamamoto A Higashiyama S, Kotani K, Kawabe J, Okano Y, Shiomi S, Shintaku H	Pediatric Res	2014年5月	国外
Phosphorylated Sp1 is the regulator of DNA-PKcs and DNA ligase IV transcription of daunorubicin-resistant leukemia cell lines	Nishida Y, Mizutani N Inoue M, Omori Y, Tamiya- Koizumi K, Takagi A, Kojima T, Suzuki M, Nozawa Y, Minami Y, Ohnishi K, Naoe T, Murata T	Biochim Biophys Acta	2014年4月	国外
A complex genomic abnormality found in a patient with antithrombin deficiency and autoimmune disease-like symptoms	Kato I, Takagi Y, Ando Y, Nakamura Y, Murata M, Takagi A, Murate T, Matsushita T, Nakashima T, Kojima T	Int J Hematol	2014年6月	国内
新規血栓性素因アンチトロンビン抵抗性の発見と今後の展望	高木 夕希, 小嶋 哲人	日本臨牀	2014年6月	国内

発表した成果 (発表題目, 口頭・ポスター発表の別)	発表者氏名	発表した場所 (学会等名)	発表した時期	国内・外の別
ヘパリン類似物質 徹底ガイド DICのすべて2014-15(丸藤哲編)	<u>小嶋 哲人</u>	救急・集中治療	2014年7月	国内
Antithrombin-resistant prothrombin Yukuhashi mutation also causes thrombomodulin resistance in fibrinogen clotting but not in protein C activation	Takagi Y, Kato I, Ando Y, Nakamura Y, Murata M, Takagi A, Murate T, <u>Kojima T</u>	Thromb Res	2014年10月	国内
深部静脈血栓症に対する対策と治療 V. 出血・ 血栓性疾患	村田 萌, <u>小嶋 哲人</u>	EBM 血液疾患の治療 2015-2016	2014年11月	国内
新たな血栓性素因：アンチトロンビンレジスタ ンス	<u>小嶋 哲人</u>	日本検査血液学会雑誌	2014年12月	国内
Analysis of the Hepatic Functional Reserve, Portal Hypertension, and Prognosis of Patients With Human Immunodeficiency Virus/Hepatitis C Virus Coinfection Through Contaminated Blood Products in Japan	<u>Eguchi S</u> , Takatsuki M, Soyama A, Hidaka M, Nakao K, Shirasaka T, Yamamoto M, Tachikawa N, Gatanaga H, Kugiyama Y, Yatsuhashi H, Ichida T, Kokudo N	Transplantation Proceedings	2014年4月	国外
Liver transplantation for patients with human immunodeficiency virus and hepatitis C virus co-infection: update in 2013	<u>Eguchi S</u> , Takatsuki M, Kuroki T.	J Hepatobiliary Pancreat Sci	2014年4月	国外
HIV/HCV 重複感染患者の肝障害病期診断にお ける acoustic radiation force impulse (ARFI) elastography	夏田 孔史, 曾山 明彦, 高槻 光寿, 山口 東平, 虎島 泰洋, 北里 周, 足立 智彦, 黒木 保, 市川 辰樹, 中尾 一彦, <u>江口 晋</u>	日本消化器病学会雑誌	2014年4月	国内
Liver transplantation for HIV/hepatitis C virus co-infected patients	Takatsuki M, Soyama A, <u>Eguchi S</u>	Hepatol Res	2014年11月	国外